株式会社：会社名事業継続計画（BCP）

部門：【薬局名】

初版：2023年12月1日

更新：2024年4月24日（第3版）

更新履歴

2024年1月24日：従業員の変更

2024年4月24日：電子処方箋追加

様式Ⅰ　業務継続の基本方針

【目的】

この計画は、株式会社：会社名（以下当社）において緊急事態が発生した際の損失の最小化を図ることを目的として、平常時及び緊急事態発生時の組織、活動内容等について定める。

【基本方針】

当社の社会的責任を全うするため、本計画に関する基本方針を以下のとおりとする。

・従業員とその家族の安全を守る

・緊急事態発生後も、現在の事業規模を維持し、従業員の雇用を守る

・事業の早期再開、もしくは、復旧状況の情報を細やかに提供することにより、顧客の信用を守る

・帰宅困難者や地域住民を支援することにより、地域社会に貢献する

【経営陣の率先垂範】

上記の方針及び目的のもと、経営陣は、緊急事態対応及び事業継続対応への取り組みの重要性を十分に理解し、それをすべての従業員に周知・徹底する。

また、経営陣は、当社が必要と認める施策を推進するために必要な経営資源を配分する。

【適用範囲】

1) 緊急時対応

この計画における緊急事態対応は、すべての従業員（契約社員・派遣社員を含む）を対象とする。

2) 事業継続対応

この計画における事業継続対応は、原則として、すべての製品・サービス、組織を対象とする。

【本計画の見直し改定】

1) 変更管理

事業環境、事業内容、事業方針、組織変更等、本計画にかかる重要な事項が変更された場合、その他の理由によって変更が必要とされる場合、本計画を見直し、改定等必要な対応を行う

2) 定期的な見直し

本計画は、各店舗が毎年1月に見直し、改定等適切な対応を行う。

3) 改定にかかる承認

本計画を改定する場合は、経営陣（代表取締役）の決裁により行う。事業環境、事業方針、事業内容、大幅な組織変更などにより、基本方針や適用範囲などの重要な事項に見直し・改廃が生じた場合は、取締役会の決議を必要とする。

4) 最新版管理

本計画を改定する場合は、すべての従業員が最新版を入手できることを確実にする。また、廃止版が誤って使用されることを防ぐために識別し、管理を確実にする。

様式Ⅱ　被害の状況等の想定

種類：被害状況別の想定

【震度6強などの震災】

1．薬局の周辺

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対 象 項 目 | | 被害状況 （利用の可否） | | | |
| ６時間 | 24時間 | ３日 | ７日 |
| ライフライン | 電 気 | × | × | × | ○ |
| 上水道 | × | × | × | × |
| ガス | × | × | × | × |
| 電話（携帯） | × | × | ○ | ○ |
| インターネット | × | × | ○ | ○ |
| ＦＡＸ ・固定電話 | × | × | ○ | ○ |
| 下水道 | × | × | × | × |
|  |  |  |  |  |
| 道路 | 通行状況 | × | × | △ | ○ |
| 鉄道 | 運行状況 | × | × | × | × |
| バス | 運行状況 | × | × | × | × |
| 通常処方せんを応需している医療機関の診療状況 | クリニック名 | × | ○ | ○ | ○ |
| クリニック名 | × | × | ○ | ○ |
| クリニック名 | × | × | × | ○ |
| クリニック名 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| その他特記事項 | ・ 津波による被害軽微  ・ 計画停電無し | | | | |

2．薬局の被害状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象項目 | | 被 害 状 況 等 |
| 建物外部 | | ひび割れ・亀裂有り。 業務継続可能。 |
| 建物（天井、窓、壁等） | | 窓割れ、 壁の亀裂有り。 業務継続可能。 |
| ライフライン（水道、ガス、電気） | | 震災後全て停止 |
| 調剤設備 | | ・薬局内の物品等は散乱。損傷は少ない。  ・整理後、稼働の可否を確認する。 |
|  | |  |
|  | |  |
| 医薬品・  資機材 | 薬局内保管分 | 使用可能（備蓄３日分） |
| 調達の見通し | 卸売販売業者の再開予定は、不明 |
| 人員 | 従業員等の被害 | 軽微な外傷が１名のみ |
| 従業員の参集 | 参集可能な者から集合してもらう。 |
| 応援の見通し | なし |
| 患者 | 患者の被害 | 不明 |
| 利用の見通 し | 地域の被災状況は中程度のため、医療機関の再開に合わせて、 利用が予想される。 |
| その他・特記事項 | | 特になし |

3.従業員の参集状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 職種 | 自宅から距離 | 備考 | 発災後経過時間 | | | |
| ６時間 | 24時間 | ３日 | ７日 |
| 開設者 | 薬・管理 | 10km（自宅） |  | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 薬剤師名 | 薬・パート | 1km | 保育園児有り | × | × | × | × |
| 事務員名 | 事務・常勤 | 0.5km |  | × | ○ | ○ | ○ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

様式Ⅲ　（通常・応急） 業務の把握と災害時の優先業務

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | 優先業務 | |
|  | 業務内容 （ ）は業務番号 | | 該当性 | （順位） |
|  | 調剤業務 | （１）処方せんの受付、入力 | ○ |  |
| （２）処方せん監査・疑義照会 | ◎ |  |
| （３）薬袋 | ◎ |  |
| （４）計数調剤 | ◎ |  |
| （５）散剤計量調剤 | ○ |  |
| （６）内用液剤調剤 | ○ |  |
| （７）外用薬調剤 （軟膏剤、湿布剤、消毒薬等） | ◎ |  |
| 通常業務 | （８）調剤監査 | ◎ |  |
| （９）医薬品情報発行 | ○ |  |
| （10）服薬指導 | ◎ |  |
| （11）医薬品交付 | ◎ |  |
| （12）会計 | ○ |  |
| （13）調剤報酬請求 | ○ |  |
| （14）電子処方箋 |  |  |
| その他 | （１） 一般用医薬品の販売 | ○ |  |
| （２） 医薬部外品、 衛生材料の販売 | ○ |  |
| （３） 食品、 日用雑貨の販売 | ○ |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 応急業務 | ＜営業時に発災＞  患者の避難誘導  ＜共通事項＞  従業員の安否、状況確認  店舗の状況確認  通常処方せんを応需している医療機関、 薬剤師会等関係機関への連絡 | | | |

＜注意事項＞

該当性の欄 ； 該当する業務に○。 優先度合いによって、 ◎○△を活用するなども良

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（1）　業務名　処方箋受付・入力

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | パソコン | 他機材落下による故障  停電 | 周辺他機材への固定 | △ |
| ※薬局が日常的に |
| 保有しているもの | - |
| 外部調達品 | - | - | - | - |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの | - |
| 情報 | | 処方箋 | 処方箋の入力困難 | 紙での記録の作成  非常用電源の確保 | △ |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | （同左） | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 医療機関訪問による対面での疑義照会 | 同左 | 電話による疑義照会 |  | 疑義照会を省略できる項目を医療機関と取り決める |
| 方策・代替 |  | （例処方箋記載の医薬品が欠品の場合に備えて |
| 手段 |  | 疑義照会なしで変更可能な同種同効医薬品のリスト整備） |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |
|  | （量・質）の変更 |  |  | の周知 |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（２）　業務名　処方箋鑑査・疑義照会

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | パソコン | 他機材落下による故障 | 周辺他機材への固定 | △ |
| ※薬局が日常的に |
| 保有しているもの | - |
| 外部調達品 |  | - | - | - |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの | - |
| 情報 | | 処方箋 | 処方箋記載必須項目の記載もれ | 災害時に最低限記載する必要がある項目 を医療機関と確認 | △ |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | （同左） | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 医療機関訪問による対面での疑義照会 | 同左 | 電話による疑義照会 |  | 疑義照会を省略できる項目を医療機関と取り決める |
| 方策・代替 |  | （例処方箋記載の医薬品が欠品の場合に備えて |
| 手段 |  | 疑義照会なしで変更可能な同種同効医薬品のリスト整備） |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |
|  | （量・質）の変更 |  |  | の周知 |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（3）　業務名　薬袋

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 事務員 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | パソコン | 他機材落下による故障 | 周辺他機材への固定 | - |
| ※薬局が日常的に |
| 保有しているもの | プリンタ |
| 外部調達品 | 薬袋 | 揺れによる散乱 | 保管場所の固定 | - |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの | その他用紙 |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | （同左） | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 手書きによる薬袋作成 | 同左 | （同左） |  | 手書き用薬袋の準備 |
| 方策・代替 |  | 手書きによる情報提供文書作成 | 情報提供文書ひな形の常備 |
| 手段 |  |  |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（4）　業務名　計数調剤

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | はさみ | 揺れによる散乱 | 保管場所の固定 | 〇 |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | カプセル・錠剤・貼付剤等 | 調剤棚倒壊による薬剤の散乱  卸業者の倉庫被災による供給停止  道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 保管場所の固定  最低3日分の薬剤の常備 | △ |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 保管庫での懐中電灯使用 | 同左 | 同左 |  | 懐中電灯の購入 |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（5）　業務名　散剤計量調剤

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | 〇 |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | 電子測り | 揺れによる散乱 | 保管場所の固定 | 〇 |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 |  | 調剤棚倒壊による薬剤の散乱  卸業者の倉庫被災による供給停止  道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 保管場所の固定  最低3日分の薬剤の常備 | △ |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 保管庫での懐中電灯使用 | 同左 | 同左 |  | 懐中電灯の購入 |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理記

業務番号（6）　業務名　内用液剤調剤

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | 〇 |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | 調剤棚 | 揺れによる散乱  ガラスなどの破損 | 保管場所の固定  予備計量器具の保管 | 〇 |
| ※薬局が日常的に | 計量器具 |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 |  | 卸業者の倉庫被災による供給停止 | 保管場所の固定  最低3日分の薬剤の常備 | △ |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | |  | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | |  | 電気 | 停電  照明の停止 | × |
|  |
|  | 電話 | 使用困難 | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 保管庫での懐中電灯使用 | 同左 | 同左 |  | 懐中電灯の購入 |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（7）　業務名　外用薬調剤

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | 調剤棚 | 揺れによる散乱  消毒などは購入が増加する可能性 | 保管場所の固定  消毒薬などの一定数量の保管と販売数の取り決め | 〇 |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | 貼付剤等 | 卸業者の倉庫被災による供給停止 | 保管場所の固定  最低3日分の薬剤の常備 | △ |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 保管庫での懐中電灯使用 | 同左 | 同左 |  | 懐中電灯の購入 |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（8）　業務名　調剤監査

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | 照明 | 停電 | 停電時は懐中電灯を用いて目視での調剤監査  処方監査に関しては添付文書を参照する | 〇 |
| ※薬局が日常的に | パソコン |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | - | - | - | - |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 停電時には懐中電灯を使用して監査 | 監査者を2名体制にして対応 | 同左 |  | 監査に必要な添付文書等の保管と整理 |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（9）　業務名　医薬品情報発行

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | プリンタ | 揺れによる破損  停電 | プリンタの固定・予備プリンタの用意  災害時紙ではなくオンラインで提供できる媒体も検討  手書きでの提供 | 〇 |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | 紙・インク | 卸業者の倉庫被災による供給停止 | 保管場所の固定  紙やインクの定期購入で在庫量を確保 | △ |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 手書きで対応  オンラインで提供 | 同左 | 同左 |  | 様式の作成 |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（10）　業務名　服薬指導

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | - | 対面であれば特に問題なし  在宅患者においては徒歩・車にて対応 | 在宅患者の薬の残日数を記録して保管 | 〇 |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | 医薬品 | 卸業者の倉庫被災による供給停止 | 最小数量での提供を行う | 〇 |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 入口の確保  看板の設置 | 同左 | 同左 |  |  |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（11）　業務名　医薬品交付

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | - | 対面であれば特に問題なし  在宅患者においては徒歩・車にて対応 | 在宅患者の薬の残日数を記録して保管 | 〇 |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | 医薬品 | 卸業者の倉庫被災による供給停止 | 最小数量での提供を行う | 〇 |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 医薬品の在庫数の確認 | 同左 | 同左 |  |  |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（12）　業務名　会計

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | パソコン | 揺れによる故障  停電 | 保管場所の固定  予備電源確保 | × |
| ※薬局が日常的に | レジ |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | - | - | - | - |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | × | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 会計は保留 | 停電解消から対応可能 | 同左 |  | 未収金帳簿の管理 |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（13）　業務名　調剤報酬請求

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | パソコン | 揺れによる故障  停電 | 保管場所の固定  予備電源確保 | - |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | - | - | - | - |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | × | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | レセプト業務は保留 | 同左 | 同左 |  |  |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（14）　業務名　電子処方箋

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | パソコン | 揺れによる故障  停電 | 保管場所の固定  予備電源確保 | △ |
| ※薬局が日常的に | 資格確認機材 |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | - | - | - | - |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | × | △ | △ | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | 通常業務体制 | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 対応困難 | 電源復旧後に受付 | 同左 |  | 非常用電源の確保 |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（1）　業務名　一般用医薬品販売

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | 待合棚 | 揺れによる散乱  消毒などは購入が増加する可能性 | 保管場所の固定  一定数量の保管と販売数の取り決め | 〇 |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | OTC | 卸業者の倉庫被災による供給停止 | 薬剤の仕入れに関して数量の設定 | △ |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | 〇 | 〇 | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | - | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 数量の設定と掲示 | 同左 | 同左 |  |  |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（2）　業務名　医薬部外品・衛生材料

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | 待合棚 | 揺れによる散乱 | 保管場所の固定  一定数量の保管と販売数の取り決め | 〇 |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | 衛生材料 | 卸業者の倉庫被災による供給停止 | 薬剤の仕入れに関して数量の設定 | △ |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | 〇 | 〇 | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | - | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 数量の設定と掲示 | 同左 | 同左 |  |  |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |

様式Ⅳ 優先業務ごとの評価と対策の整理

業務番号（3）　業務名　食品・日用雑貨販売

【業務資源とリスク評価】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務資源 | | | 想定される被害状況 | 実施する予防策 | 予防策を踏まえた使用可否 |
| ヒト | | 薬剤師 | 公共交通機関の停止による参集不可 | 近隣居住者のパート採用 | × |
| 道路の寸断、 交通規制による参集不可 | 店舗への徒歩参集ルートの確認 |
| モノ | 常備品 | 待合棚 | 揺れによる散乱 | 保管場所の固定  一定数量の保管と販売数の取り決め | 〇 |
| ※薬局が日常的に |  |
| 保有しているもの |  |
| 外部調達品 | 食品 | 卸業者の倉庫被災による供給停止 | 食品の仕入れに関して数量の設定 | △ |
| ※外部からの定期的な |
| 供給が必要なもの |  |
| 情報 | | 処方箋 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 | 業務番号（2）で検討 |
| ライフライン | | 電気 | 停電 | - | × |
| 照明の停止 |
| 電話 | 使用困難 | - | × |

様式Ⅴ　業務継続目標とその対策

【業務継続目標】

※サービスレベル　〇：通常対応可　△：部分対応可　×：対応困難

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発災後経過時間 | | 6時間 | 24時間（１日） | 72時間（３日） | 1週間 | 事前対策 |
| 目標とするサービスレベル | | △ | 〇 | 〇 | ○ | - |
| 業務を継続 | サービス提供方法・ | 薬剤師１名で対応 | 薬剤師２名で対応 | 同左 | - | 緊急参集する薬剤師の指定 |
| するための | 手段の変更 | 数量の設定と掲示 | 同左 | 同左 |  |  |
| 方策・代替 |  |  |
| 手段 |  |  |
|  |  |  |  |  | - |  |
|  | サービス内容 | 開局時間の短縮 （10～13時） | 同左 | 同左 | - | 災害時の開局時間に関する方針の検討と医療機関へ |